

No.48 2017年 8月号
 倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
 〒712-8057 倉敷市水島東千鳥町1-60
TEL 086-444-3212
 老人保健施設 **老健あかね**
TEL 086-446-6541



コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。

第54回 日本リハビリテーション医学会学術集会

コープリハビリテーション病院院長 鍛本真一郎

さる6月の3日間、日本リハビリテーション医学会が岡山市で開催されました。テーマは「科学的根拠のある地域包括ケア推進」です。地域包括ケアとは何か？それがリハビリとなんの関係があるのかご紹介します。

地域包括ケアという言葉は国が提唱する合言葉です。我々医療や介護、福祉の業界では常識ですが、地域包括ケアの主人公になる国民は殆ど知りません。経緯はこうです。今後、

日本は総人口が減って老人だけ増える。老人は病気になるし介護もいる。そのお金が不足するから医療・介護は節約しなさい、代わりに地域ぐるみで助け合って生きて下さい、という国からのメッセージがありました。なかんずくリハビリは内臓の病気と神経や運動のしくみのバランスを整え生活を良くするのが目的です。これが広まれば医療や介護負担は合理化され、生活を損なう老人を少しでも減らせます。

シリーズ「専門職の誇り」

生活機能を改善する 外来看護師を目指して

コープリハビリテーション病院の外来と聞いても馴染みはないかもしれませんが、リハビリ科と一般内科、神経内科の診療を行っています。総合病院のように救急や詳しい検査はできませんが、在宅での生活をリハビリの視点から支援しています。外来看護師は3名で診療の介助や医師の指示の下、処置・検査等の実施、療養上の生活指導などを担当しています。いつも笑顔で優しく声掛けすることをモットーに、患者様だけでなく、ご家族

ともお話をします。当院の外来では介護保険のサービスを利用されている患者様が多数おられます。その患者様の介護情報を把握し、必要に応じて関係者と連携を図っています。患者様の病状や生活状況が変化した場合、情報を共有できるようにケアマネージャーに電話連絡を行うこともしばしばあります。利用されている事業所へは医師から指示されたりハビリ内容をタイムムリーに伝えることもします。

日本リハビリテーション医学会はこの方向で一致し自立に資する研究発表がたくさん寄せられています。病気からくる障害は生活に支障をきたします。介護の上積みでそれを補うのも必要ですが、リハビリで少しでも自分でできることを増やしたい、それがリハビリに関わるプロたちの願いです。



「地域包括ケア」の座長を務める筆者（中央）

在宅療養に関わる医療と介護を総合的に結びつけて、少しでも安心して安定した在宅療養が続けられるように患者様を支援することが目標です。すべては患者様の生活機能改善のためです。



外来看護師（筆者中央）

コープリハビリテーション病院 外来看護主任 西 みどり

骨折の連鎖をリハビリで防ぐ

第22回水島臨床フォーラム

水島地区の病院職員合同学習会が環境交流スクエアで6月29日に開催され、約200名の方が参加されました。今回は当院長が世話人となり、川崎医科大学の大成和寛先生を特別講演にお招きし、早期に骨折リスクを発見することや骨粗鬆症の治療を如何に継続するかを勉強しました。



特別公演の大成和寛先生

それに先立ちまして、私達が「リハビリテーションからみた脊椎圧迫骨折の特徴」と題し、過去3年間の回リハ病棟の取り組みを紹介しました。圧迫骨折で入院された多くの患者さんは、入院前から骨折・心不全・腎不全・呼吸不全など多くの併存疾患を抱えている事がわかりました。腰が痛くて動けない、動けないから寝てしまおう、寝てしまおうから足の力が落ちる、更に動けなくて寝たきりになるという「負」のスパイラル（悪循環）に陥りやすい事も分かりました。その「負」のスパイラルを「正」の方向に導くために、私たちは多職種協業で様々なアプローチを実践しています。発表では代表的な例として、



水島臨床フォーラム

の患者と交流も出来る日中デイケア、自宅での過ごし方が分かる「自宅リハビリ」などを紹介しました。「腰が痛い、寝かせて」「どうして起きないといいんの」など、様々な訴えに耳を傾けつつ、如何に寝たきりを防ぎ、活動的にするかは今後の骨折の連鎖を防ぐためにも非常に大切となります。コープリハビリテーション病院 理学療法士 佐藤 雅昭



一般講演の筆者

入院や入所に際して、部屋代はいただいません。

地域包括ケアシステムの主役 「地域ケア会議」

6月30日に地域ケア会議が当院で開催されました。
まずは当施設の見学をしていただ
いてから、病院・老健が地域でどの
ように協力して行けるのか活発に意
見交換を行いました。



福崎・千鳥町代表のみなさん

隣の芝生は大賑わい

6月3日病院のお隣の水島愛あいサ
ロンを主会場にくらしき環境フェス
ティバルが盛大に開催されました。
「工」体験」や「水島グルメ」など
たくさんコーナーがありました。



病院西側のくらしき環境フェスティバルの様子

日赤からの献血依頼

6月28日に献血車が来ました。
たくさんの方に受付していただきま
した。
ご協力ありがとうございました。
うございました。



合いました。

家族には言いにくい思い
を吐き出しながら、それぞ
れの「介護とは」を考えま
した。参加された方が少し
でも元気になっていただけ
たかな、と思います。きず
なの会としては、この「介
護を語り合う会」をこれか
らも大切にしていきたいと
思います。関心のある方は、
是非またご参加ください。
きずなの会事務局

福井真知子
(老健あかねソーシャルワーカー)

「介護を語り合う会」

きずなの会

6月26日に、私たち法人の
介護者家族会「きずなの会」
の恒例行事「介護を語り合う
会」を開催しました。当日は
お二人の方に介護体験をお話
していただきました。

まだ、介護保険制度がな
い時代から、仕事をしなが
ら認知症のご主人を支え、
その後寝たきりになってか

そのあとで、座談会とい
う形で、皆さんの介護に対
する思いや悩みなどを話し

らも住まいで看続けたTさ
んのお話や、今まさに、
ご両親の介護真っ只中のお
話などを、皆さんご自分
の経験と重ねながら、食
入るように聞いておられま
した。



介護経験のある皆さんと私たち事務局

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。



○お問い合わせ先
倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-444-3212 (代表)
受付時間 8:30～17:00
(土日祝・年末年始を除く)
〒712-8057
倉敷市水島東千鳥町 1-60
ホームページ
http://coopreha.jp/
メールアドレス
info@coopreha.jp
広報委員会
発行責任者 笹舘 勝人

診療表					
コープリハビリテーション病院 [086-444-3212]			老健あかね [086-446-6541]		
	内科	歯科	短時間 通所 リハビリ	訪問 リハビリ	通所 リハビリ
診療時間	午前 9:00～ 12:30	午後	9:00～ 16:50		9:00～ 16:00
月			○	○	○
火	○	○	○	○	○
水	○	○	○	○	○
木	○	○	○	○	○
金	○	○	○	○	○
土					○

医療福祉相談・連携室		
相談時間	平日	9:00～12:00 13:30～16:30
	土曜日	9:00～12:00
	日・祭日	休み

不要なタンパク(βタン
パク)は認知症の発病より
20年以上も前から脳に蓄積
し始め、蓄積し始める年齢
は遺伝やライフスタイルの
影響を受けやすいと言われ
ています。私も人生の後半
に入り、物忘れをよくしま
す。頭の中ではβタンパク
が少しずつたまっていくの
でしょう。しかし、脳には
良くなる力(可塑性)があ
ります。私は看護師として
働く中で、もうだめかと

特集 看護 ②③
認知症予防について②
認知症看護認定看護師
田上 理枝
(コープリハビリテーション病院 4階病棟)

コープリハ・あかね
まつり
9月16日(土)
16:00～(予定)
病院西芝生広場
(雨天:病院内にて開催予定)

思っていた重度の脳障害の
方が意思表示できるよう
なるということは何度か経
験しました。その経験から、
私はライフスタイルを変え
ることによって脳のネット
ワークの再構築ができるの
ではないかと脳の持つてい
る力に期待しています。